

LP「7800ファーレンハイト」&ベスト

(夜明けのランナウェイ)



HARDEST PART IS THE NIGHT

オールウェイズ・ラン・トゥ・ユー 99 ALWAYS RUN TO YOU

真紅の炎 117 TO THE FIRE

シークレット・ドリームス 127 SECRET DREAMS

RUNAWAY

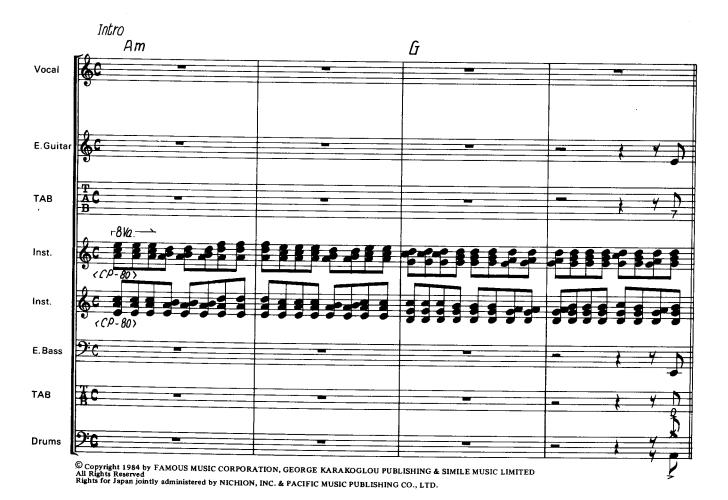
夜明けのランナウェイ

Words & Music by J. Bon Jovi & G. Karak

演奏解説

イントロはピアノ(おそらくCP-80だろう)の3拍フレーズ。特定の音にアクセントが付かないように注意してプレイしよう。ギターは5度のハーモニーがメインのバッキング。右手はダウン・ストロークだけでピッキングしよう。サウンド・メイクは、オーバー・ドライヴ+ディレイのセッティング。イントロの最後に出て来るスクラッチとは、ピックで弦をこするテクニックの事。ここでは低音弦をブリッジ側からヘッドの方向にこすっている。

④のギター、ベース、ドラムのパートは I 回目のもので、リピート後はギター、ベースは 8 分音符によるバッキング (⑥の下段のギターとベース参照)、ドラムは普通のリズム・パターンになっている。⑥⑥′はギター・ソロ。難しいテクニックは使われていないが、その分ハッタリが効かない訳で、I音 I 音を正確にプレイするようにしよう。









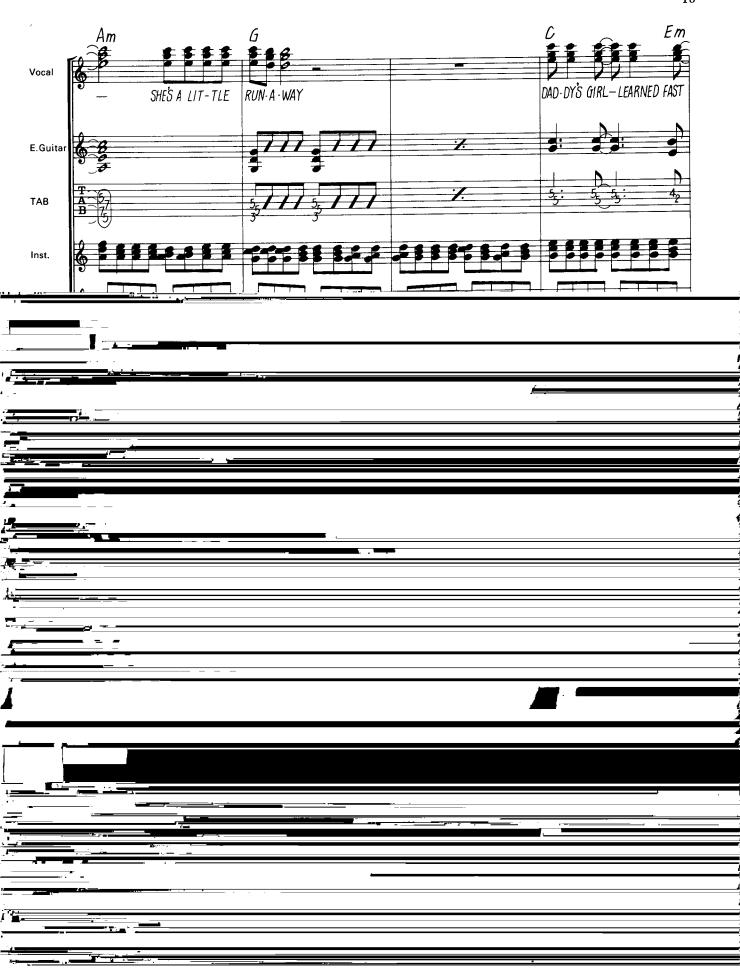












SHE DON'T KNOW ME 愛は蜃気楼

Words & Music by M. Avsec

演奏解説

ギターは譜面に書いた以外にも入っている。実際にバンドでプレイする時には 4 本のギター (E・ギター I, II, IIIと A・ギター) のパートをうまく振り分ければ 2 本のギターで充分近いサウンドになるはずだ。

©のギターのオスティナート・フレーズは符割りが細かいので、リズムが流れないように注意してプレイしよう。キーボードは(多分CP-80だろう)コード・バッキングがメイン。 ②③では軽くフィル・インを入れてみるのもいいだろう。ベースはオクターヴ・フレーズの連続。カッコ内の音は空ピックの雰囲気でプレイしよう。



©Copyright 1984 by BEMA MUSIC CO. All Rights Reserved The rights for Japan assigned to Nichion, Inc.















BURNING FOR LOVE バーニング・フォー・ラヴ

Words & Music by J. Bon Jovi & R. Sambora

演奏解説

2本のギターがメインのバッキングになっている。サウンド・メイクは2本とも殆んど同じセッティングで、オーヴァー・ドライヴ+ディレイ(薄く)。各セクションの終わりの部分にユニゾン・フレーズやリズムのキメが出て来るが、この部分が合わないとこの曲全体が台無しになってしまうので、シッカリ練習しよう。

®からはギター・ソロ。いきなり3拍フレーズが出て来るので、リズムのアタマを見失なわないようにしよう。後半はチョーキングを多用したソロ。音程とリズムのタイミングに注意してプレイしよう。 ®から出て来るオルガンは殆んど隠し味的なもので、あまり表に出ないように。ドラムスは、ハイ・ハットにオープンのマークが付いているが、これは完全なものではなくて、オープン気味という意味である。



© Copyright 1984 by FAMOUS MUSIC CORPORATION & SIMILE MUSIC LIMITED All Rights Reserved
Rights for Japan jointly administered by NICHION, INC. & PACIFIC MUSIC PUBLISHING CO., LTD.































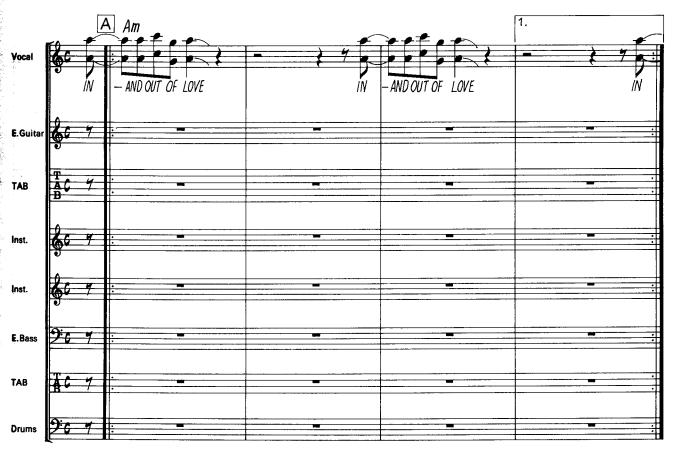
IN AND OUT OF LOVE 恋の切り札

Words & Music by J. Bon Jovi

演奏解説

コーラスのフェイド・インから始まる。リズム・セクションが入ってからの4小節が、この曲の基本パターン。2、4小節目に出てくるアルペジオ・フレーズは、ひとつひとつの音を切らないように、滑らかにプレイしよう。®も4小節パターンになっているが、最初の小節は2拍目にアクセントがきている。小節のアタマを間違えないように。ギターのパートに出て来るバツ印の音符はブラッシング・ノート(通称「空ピック」)で、左手で弦をミュートしながらピッキングして音程のない音を出すテクニック。©の7、8小節は全員によるユニゾン・フレーズ。休符の部分が詰ったりしないように注意しよう。

®:ベースはトニック・ペダル(A)の部分とコードのルートに合わせた部分を使い分けている。®の8小節目はアーミングによるグリス・ダウン。アーミングのタイミング等はレコードを聴いてフィーリングをつかんで欲しい。またこの部分は全員のブレイクなので、リズム・キープに注意してシッカリ合わせられるようにしよう。⑥:ギターのアドリヴ・パート。フレーズの終りにアーミングを多用している。また、2×の1~3小節の音符についた「/」の記号はトレモロを表わま右手の素速いオルタネイト・ピッキングによるテクニック。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa



















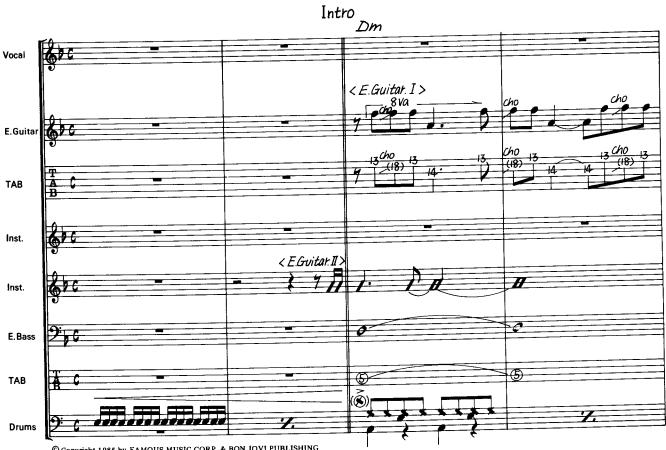
PRICE OF LOVE プライス・オブ・ラヴ

Words & Music by J. Bon Jovi

演奏解説

②: E・G I はアルペジオ風フレーズ。左手はコード・フォームの型で押えたままでプレイしよう。E・G II はオーヴァー・ドライヴに加えてコーラスをかけている。右手はミュート気味(右手の腹の部分を軽く弦に解れるようにして) にオルタネイト・ピッキングでプレイしよう。E・G III はコード・カッティング。高音弦をあまり強調しないフォームでプレイしよう。

®はギターのアドリヴ・パート。5,6小節はライト・ハンド奏法を使っている。装飾音符は左手で、符割上の音は右手でプレイしている。また7小節目からは3連のフレーズが連続している。リズムに上手くのるようにしよう。リピート後の1~4小節のFの音はイントロと同じテクニックを使っている。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Rights for Japan assigned to NICHION, INC.

















ONLY LONELY オンリー・ロンリー

Words & Music by J. Bon Jovi & D. Bryan

演奏解説

彼等にしては珍らしくキイボードを大きくフィーチャーしたナンバー。イントロ上段のシンセはチェンバロ風のサウンドで、リリースを長めにセットしている。下段のシンセはストリングス系のサウンドで、5小節目からはコード・チェンジに合わせてシンコペーションしないパターン(ToToがよく使うパターン)。ベースは4分音符が基本となるパターンで、多分フラット・ピックを使ったものだろうが、スタッカート気味にハギレよくプレイしよう。

Aのシンセはオルガン風サウンド。Bからはギターのカッティングが入ってくる。オルタネイト・ピッキングでハギレよくプレイし,4分音符は長めに伸ばすようにしよう。Eは全体に休符の多いパターンなので,リズム・キープに注意してプレイしよう。Bはギターのアドリヴ・パート。 $I \sim 7$ 小節はライト・ハンド奏法によるもので,D, Eb, Fの音を右手で出している。E0×の7、E1、E1、E1、E1、E1、E1、E1、E2、E3、E3、E4、E4、E5、E5、E6、E7 、E7 、E7 、E8 、E7 、E8 、E9 、



























KING OF THE MOUNTAIN キング・オブ・ザ・マウンテン

Words & Music by J. Bon Jovi & R. Sambora

演奏解説

イントロのベースとE・GIIは音符イッパイまで音を伸ばして、重たいノリが出るようにしよう。 E・GIはダウン・ピッキングのみでプレイし、スライドの時に音が切れたりしないように注意しよう。

▲のヴォーカルはスペースの都合で2×の符割が書けなかったので、レコードを聴いてフィーリングをつかんで欲しい。 ®はギターのアドリヴ・パート。ポジションの移動が激しいので、滑らかに移れるように充分練習しよう。 ©のギターはフィード・バックさせた音をアーミングによって変化を付けている。 実際のフィーリングを譜面に書く事は不可能なので、レコードからその感じをつかんで欲しい。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa











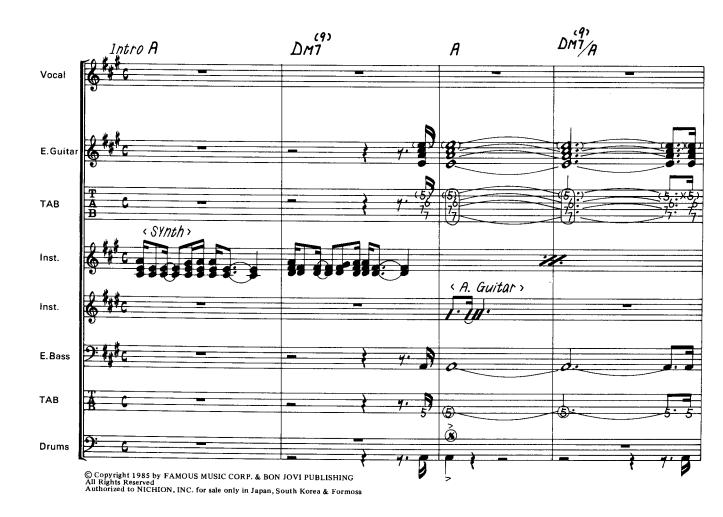
SILENT NIGHT サイレント・ナイト

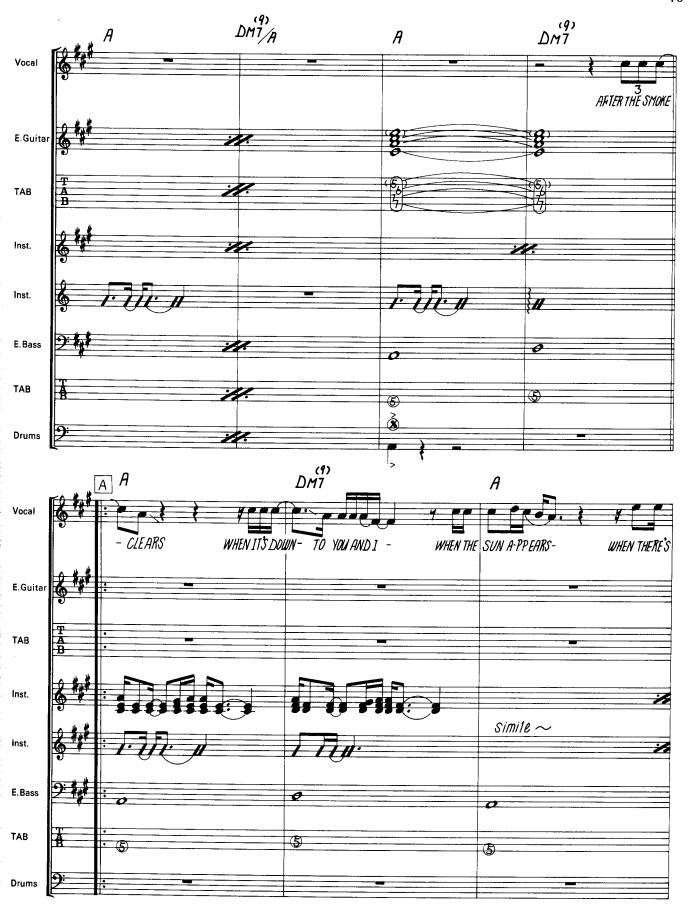
Words & Music by J. Bon Jovi

演奏解説

イントロのシンセはブラス系のサウンド。16分音符 | 個分の長さのディレイがかかっている。A・Gはあまりシンコペーションを強調せず、高音弦を多く使ったアルペジオ風フレーズでプレイしている。

®下段のシンセはストリングス系サウンド。 ®はギターのアドリヴ・パート。1,2小節はアーミングしながらピッキングしている。5,7小節はかなり細かい符割りになっている。左手はそれ程問題はないと思うが、右手は正確なオルタネイト・ピッキングで、ひとつひとつの音をクリアーに出すようにプレイしよう。7小節目下段のギターはダビングによるもので、メインのギターにからんだフレーズ(Ⅰ拍ずつズレている)。お互いに正確にプレイしないと、符割りが細かい分だけグシャ・グシャになってしまうので注意しよう。

















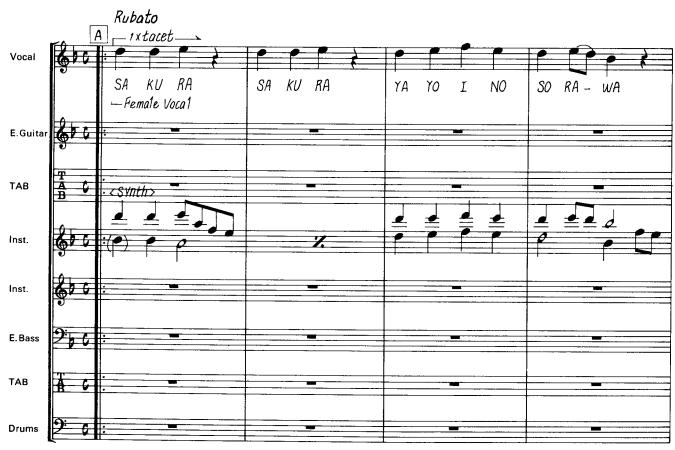
TOKYO ROAD TOKYO ROAD

Words & Music by J. Bon Jovi & R. Sambora

演奏解説

いきなり「サクラ・サクラ」のメロディーが出て来てビックリさせられる。殆んどノー・テンポのシンセ(本物のオルゴールかも知れない)と女性ヴォーカルの後、全く異なるテンポで曲が始まる。ギターのリフがメインになっているが、アームを持ちながらのピッキング(ダウン・ピッキングのみ)でその為音程が徴妙に変化している。⑥はシングル・ノートのバッキング。ミュート(右手の腹によるもの)気味にダウン・ピッキングだけでプレイしよう。5、6小節は同じフレーズを右と左に振り分けている。リピート後のシンセは木管系のサウンド。⑩の5小節目からは再びアーミングをしながらのプレイ。

⑤の前 2 小節は全員による3拍フレーズのキメ。シッカリ合わせるようにしよう。2 カッコのギターはアーミングとディレイによるもの。フェイド・インしてくるシンセは、おそらくシークェンサーによるものだろう。また、バス・ドラムが 2 拍目だけに入っているので小節のアタマを間違えないように注意しよう。⑥のオブリガートのギターは左右に振ってある(カッコの付いた音が左)。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa

















HARDEST PART IS THE NIGHT ハーデスト・ナイト

Words & Music by J. Bon Jovi & D. Bryan

演奏解説

イントロはギターのソロ。音符いっぱいまで音を伸ばしてプレイしよう。4小節目のシンセは 殆んどノイズに近い音。5小節目のA・Pは多分CP-80だろう。例からのシンセは、ブラス系の音 にチェンバロ風の音を加えたもの。

®はギターとベースのユニゾン・フレーズがメイン。アルペジオ風のフレーズなので、音のつなぎを滑らかにプレイしよう。⑥上段のギターはピッキング・ハーモニクスによるもの。⑩:基本的には3本のギターが入っている。E・GIとIIは完全にアレンジされている。8,9小節のE・GIIはダビングによるハモリ。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa















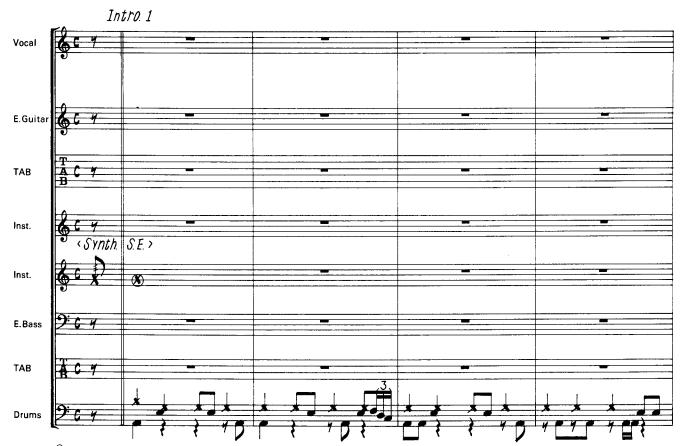


ALWAYS RUN TO YOU オールウェイズ・ラン・トゥ・ユー

Words & Music by J. Bon Jovi & R. Sambora 演奏解説

イントローは8小節のドラムス・ソロ。この8小節で全体のプリが決まってしまう、といっても過言ではない。スネアが8分のウラに入っていたりしているのでキープがちょっと難しいと思う。あらかじめトレーニングしておくとよい。イントロ2のギターのリフは曲中に何度も出てくるものだ。5弦Aをペダルにして3、4弦が4度音程で上下してゆく。5弦Aはややミュート気味に、3、4弦はちょっとアクセント気味に弾くとメリハリがつくはず。

シンセは全体としてSE (Sound Effect) 的な使い方が多い。シンセそれ自体の音色はもちろんだがディレイなどの周辺機器による音色づくりも必要とされる。 ⑥のギター・ソロのポイントは 7 小節目のハーモニクスによるフレーズだろう。 異弦同フレットをすばやく移動させるものだが、アップ・ダウンのかわりにブラッシング・ピッキングでもまあかまわないと思う。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa









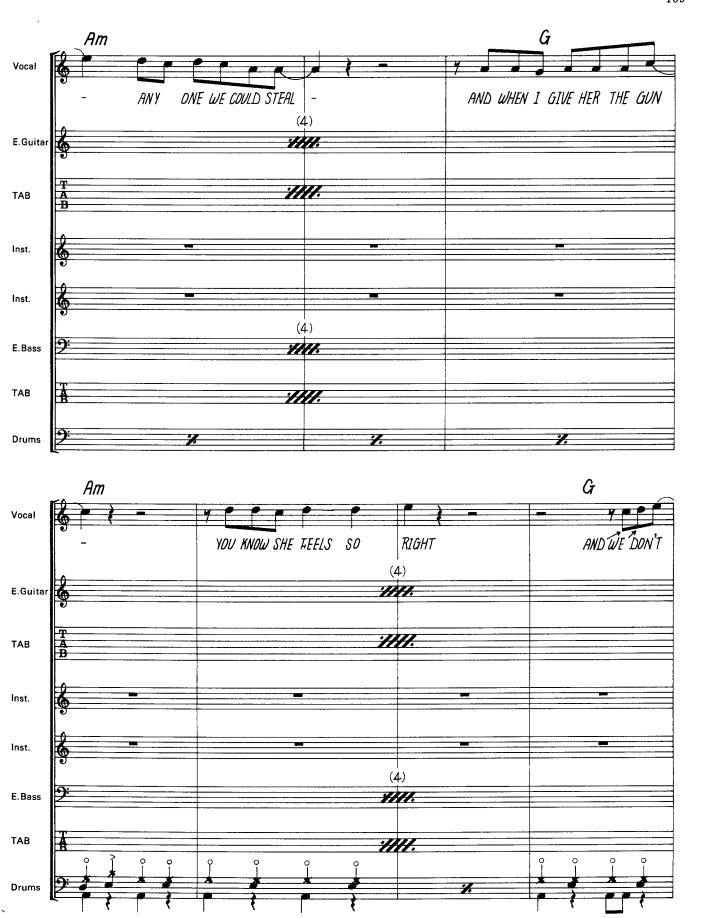


























TO THE FIRE 真紅の 炎

Words & Music by J. Bon Jovi, R. Sambora & D. Bryan

演奏解説

デジタル・ドラム・マシーンと生ドラム音をミックスした今風の音づくりをしている曲。バスドラムの16分音符の連続はツイン・バスでもちょっと無理なので念のために。ステージで再現する場合最大のポイントはモニター音をしっかり返してもらうことと、ドラム・マシーンのスタートのタイミングをメンバー全員できちんと打ち合わせしておく、というところだろう。

シンセは4度音程を多用したちょっとオリエンタルの香りもするバッキングだ。ディレイやステレオ・コーラスで音を拡げてやるとよい。ベースはシンセ・ベースなのでMIDIを使えばシンセーシンセ・ベース・ドラム・マシーンをうまく同期してメンバーの負担を軽くしてやることもできる。ギターの音色はほぼディストーション系で、⑥のソロはやや固めのイコライジングになっている。



© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa



















SECRET DREAMS

シークレット・ドリームス

Words & Music by J. Bon Jovi, R. Sambora, T. Torres & B. Grabowski

演奏解説

6弦 Eをペダルにした重厚なギター・ワークでイントロが始まる。ギター I と 2 は全体的に同じフレーズを弾いているが、ギターが I 人しかいない場合ディレイでダブリングして音の厚みを出すとよい。ポイントはディレイ・タイム。短かすぎると分離感がなくなるし長すぎるとリズムのタイトさが失われる。イントロ②のシンセの 8 分音符弾きは簡単そうで以外と難しい。特にヴォイシング・チェンジの際 8 分音符の粒が荒くなりがちだ。右手のフォーム、8 分のタイミングを同時にチェックしておいてほしい。

©や⑥などのコーラスはぜひコピーしてほしい。比較的コードの構成音に忠実なコーラス・アレンジなのでがんばればきっとできる。うまくゆくとバンドのサウンドの豊かさ、厚さが飛躍的に伸びるはず。⑪はリピートした後、ボーカルはアドリブ的に歌い、コーラスはそのままという雰囲気だ。

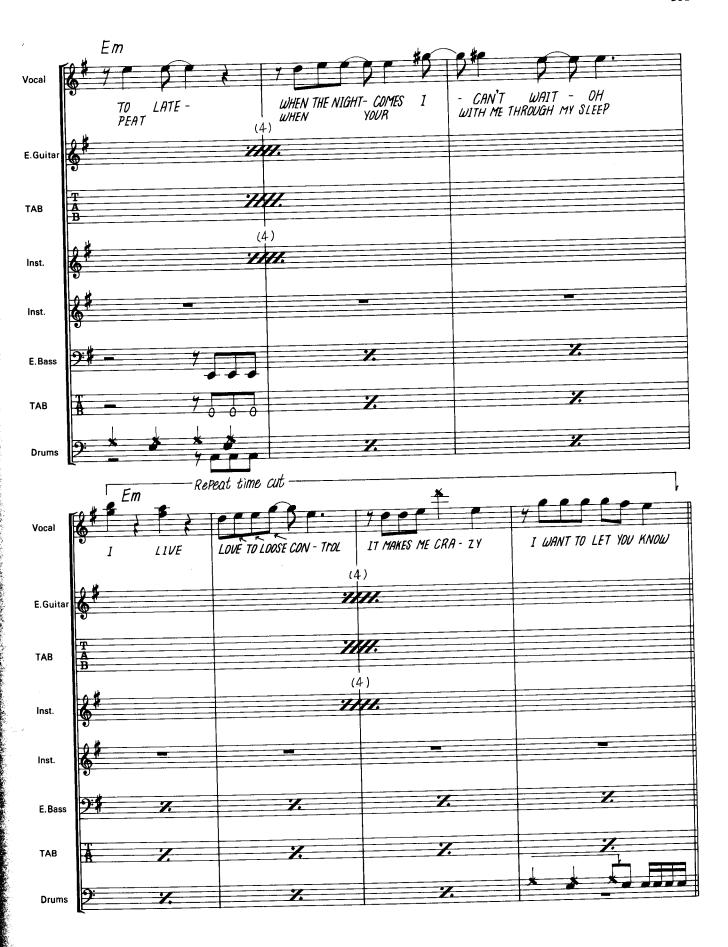


© Copyright 1985 by FAMOUS MUSIC CORP. & BON JOVI PUBLISHING All Rights Reserved Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa































夜明けのランナウェイ RUNAWAY

愛は蜃気楼 SHE DON'T KNOW ME

バーニング・フォー・ラヴ BURNING FOR LOVE

恋の切り札 IN AND OUT OF LOVE

プライス・オブ・ラヴ PRICE OF LOVE

オンリー・ロンリー ONLY LONELY

キング・オブ・ザ・マウンテン KING OF THE MOUNTAIN

サイレント・ナイト SILENT NIGHT

TOKYOU- F TOKYO ROAD

ハーデスト・ナイト HARDEST PART IS THE NIGHT

オールウェイズ・ラン・トゥ・ユー ALWAYS RUN TO YOU

真紅の炎 TO THE FIRE

シークレット・ドリームス SECRET DREAMS

